



釧路市医師会活動状況

釧路市医師会 会長
釧路孝仁会記念病院 理事長
齋藤 孝次

釧路市医師会は平成24年6月に公益法人から一般社団法人へと移行致しました。活動の内容に大きな変化はなく、これまでの医師会業務を継承する形で行われています。医師会の目的である医道の高揚、医学および医術の発展ならびに公衆衛生の向上を図り、もって住民の健康と社会福祉の増進に寄与すべく活動を展開しております。

会員数はA会員78名、B会員181名、計259名です。理事は15名で理事会を構成しており、会長1名、副会長3名が含まれます。北海道医師会に準じて18事業を展開しており、各理事が役割を分担しています。理事会は毎月1回開催され、道医の活動報告と各部会の活動報告を行い、協議事項がある場合はそれについて協議します。総会は年1回6月に開催されます。

広報が月刊「釧医通信」を発行し、「釧路市医師会報」を季刊で発行しております（年3回程度）。

釧路市医師会で行っている大きな事業は3つあり、それは釧路市医師会看護専門学校の実習、釧路市医師会健診センターの実習、釧路市夜間急病センター（釧路市が指定管理者）の実習です。3事業とも順調に運営されております。とりわけ行政との協力関係が良好で、釧路市の保健・福祉・介護事業に対する釧路市医師会の貢献は、非常に高く評価していただいているところであります。

会員の親睦の機会が非常に少なく、毎月1回の十日会は情報交換と親睦の場となる最も重要な会合です。A会員の出席がほとんどなので、今月より、新入会員の招待とB会員の会費半額という制度を開始し、B会員との交流にも力を入れていく所存でおります。

ほかに、重要な交流の場としてメディカルゴルフ会が年に10回ほどの例会を行っています。ブロック対抗戦にも精力的に挑戦しているところであります。残念なのは最近若いゴルファーが少ないことです。また、囲碁クラブもありますが最近活動がさっぱりで、この十日会とゴルフが重要な位置を占めています。

釧路市には、市立釧路総合病院、釧路労災病院、釧路赤十字病院の3つの公的病院がありますが、1期ごとに持ち回りで副会長を担当していただく仕組

みが出来上がっており、民間の医療機関との連携も良好です。

市立釧路総合病院はドクターヘリの基地病院として、基幹連携病院である釧路孝仁会記念病院と協力して釧路地域を中心としたドクターヘリの運用にあっております。

釧路市医師会活動の現況を簡単に紹介させていただきました。

会員一同力を合わせ、地域医療を守っていきたくと考えております。

